

平成30年3月8日

各 位

会社名 大日本印刷株式会社
代表者 代表取締役社長 北島 義俊
(コード番号 7912 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション本部長
田村 高顕
(TEL 03-6735-0101)

当社子会社（丸善CHIホールディングス株式会社）の特別損失の計上
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である丸善CHIホールディングス株式会社は、別添資料のとおり、平成30年1月期通期連結決算におきまして、特別損失として固定資産の減損損失を計上する見込みとなり、また、当該減損損失及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年3月16日に公表いたしました平成30年1月期通期連結業績予想について修正いたしましたので、お知らせいたします。

これによる、当社の平成30年3月期連結及び個別業績に与える影響は軽微であります。

以 上



平成30年3月8日

各位

コード番号 3159 東証第一部
会社名 丸善CHIホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中川 清貴
開示窓口 執行役員総務部長 高橋 健一郎
電話番号 03-6735-0785

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年1月期通期連結決算におきまして、下記の通り特別損失として固定資産の減損損失を計上する見込みとなりました。また、当該減損損失及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年3月16日に公表いたしました当社の平成30年1月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

店舗・ネット販売事業におきまして、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、近年退店した店舗における撤退費用発生実績等の新たな情報の入手に伴い、退店時の原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。当該見積りの変更及び同事業の業績状況を踏まえた将来収益計画の見直しにより、固定資産の減損損失を1,775百万円（他の事業セグメントにかかる減損損失も合わせ合計1,800百万円）を特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 平成30年1月期 連結業績予想数値の修正（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	180,000	2,250	2,000	900	9円72銭
今回開示予想（B）	178,300	2,300	2,250	△325	△3円51銭
増減額（B－A）	△1,700	50	250	△1,225	—
増減率（%）	△0.9	2.2	12.5	—	—
（ご参考）前期通期実績 （平成29年1月期）	178,405	2,032	2,013	539	5円83銭

3. 業績予想の修正の理由

売上高は期初予想から微減となりましたが、販管費の削減に注力した結果、営業利益、経常利益は予想を上回る見込みとなりました。

しかし、上記「1.減損損失の計上について」記載の通り、店舗・ネット販売事業に係る固定資産の減損損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想を1,225百万円下回り、当期純損失の見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上